

# 廃棄物資源循環学会学会誌等編集基本方針

編集委員会

平成 21 年 11 月 26 日 改定

廃棄物資源循環学会は、物質循環と廃棄物管理に関する学の体系化を進め、学術的立場から社会の先導的役割を担い、循環型社会の形成と廃棄物問題の解決に貢献するため、学会誌等の編集基本方針は以下のとおり定める。

## 1. (原則)

日本の廃棄物資源循環に関する学術的調査・研究の発表機能、および知識の普及を図るとともに、社会の幅広い要望に応え、広範な支持を受ける学会誌等の編集を行う。廃棄物資源循環に関する学術研究やその動向、廃棄物資源循環行政の動向などを体系的に紹介すべく、多様な編集媒体での情報交換に努める。

## 2. (倫理規定、知的所有権)

学会誌等の編集においては、学会活動にかかわる全ての倫理的要件を遵守することに留意しなければならない。学会誌等の編集に係る著作権や出版権等に関しては、本会が定める「廃棄物資源循環学会知的財産権規程」に基づき、社会規範に沿った運用を進めるものとする。

## 3. (論文誌)

論文誌は、独創性を有し、学術研究の進歩にとって有用な論文とともに、実用的社会貢献の高い論文や調査報告を広く受け入れて掲載し、幅広い学術的基盤の構築に資する内容とする。

## 4. (学会誌)

学会誌は、中立的な学術的立場から、学会員のみならず、学会外の幅広い関係者等にも有用な情報を特集記事などとして発信するとともに、多様な意見を整理するなど、多くの主体の異なる意見を理解するのに資する内容とする。

## 5. (国際的展開、英文誌)

廃棄物や循環型社会形成に関する学術研究について、とくにアジア太平洋地域への展開に力を注ぎながら、国際的な物質循環・廃棄物管理の学術展開をめざす。そのため、英文ベースの学術誌の発刊を行うこととし、英文誌の基本方針(Aims and scope)は、別途定める。

## 6. (市民編集)

廃棄物問題の解決、循環型社会の形成に向けては、多様な利害関係者との連携を欠かすことができないため、質の高い情報を分かりやすく社会に発信することに努める。社会の多様な意見を学会員や社会に伝えるため、市民編集を推進する。そのための情報媒体の企画編集を進めるための態勢を用意する。

# *Journal of Material Cycles and Waste Management*

## **Aims and scope**

The aim of the Journal of Material Cycles and Waste Management is to develop solutions and prescriptions for material cycles. The focus of the journal is twofold: research in technical, political, and environmental problems of material cycles and waste management; and information that contributes to the development of an interdisciplinary science of material cycles and waste management.

The journal publishes original articles, reviews, and invited papers from a wide range of disciplines related to material cycles and waste management. Experts on material cycles and waste management from all parts of the world are encouraged to submit their work for publication, and Asia-related research and other information is especially welcome. For details of format and length of articles, please consult the "Instructions to Authors" published in the journal.